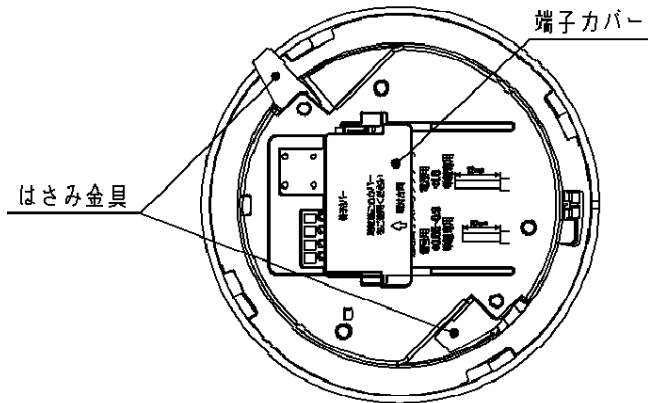
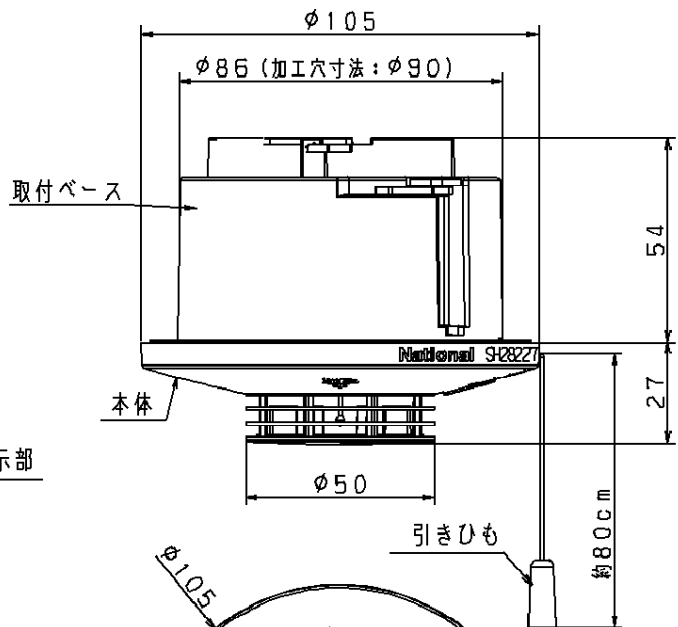
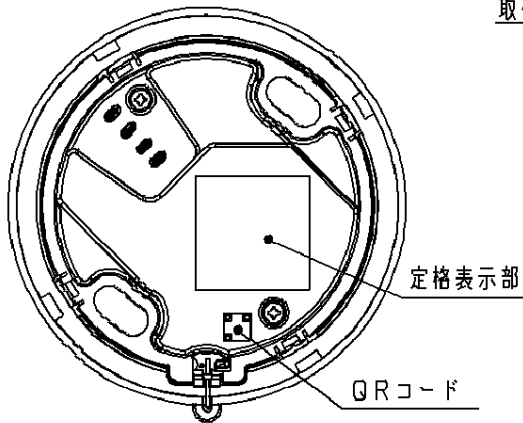


主要 部品材質	構成要素	材 料	色 彩	処 理	備 考
	本体	変性ポリカーボネイト	ケールホワイト		
	はさみ金具	鋼板		3価クロムめっき	



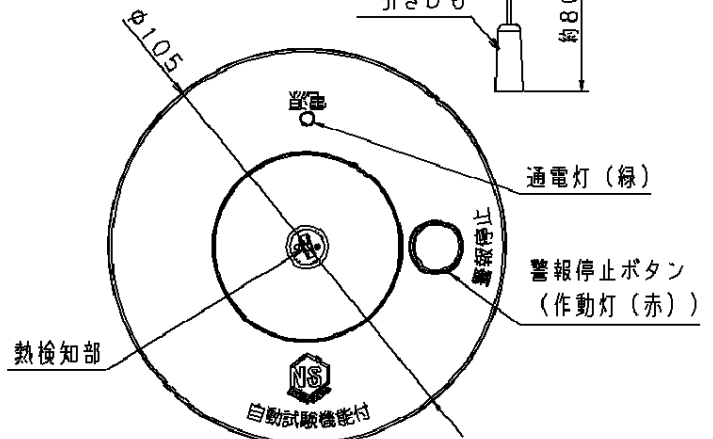
裏面図 (取付ベースを外した状態)



【QRコードデータ内容】

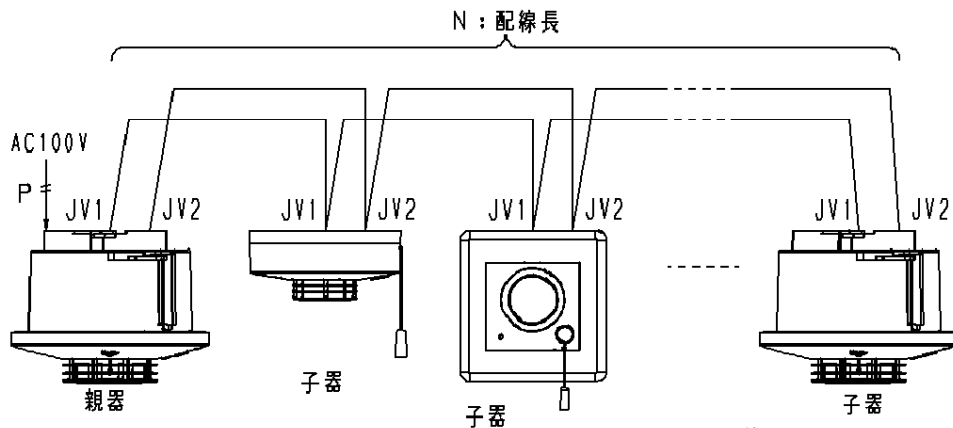
KANJ\*\*\*-\*\*\* \*\* \*\* \*\*\*\*\*

型式番号 (鑑住第\*\*\*~\*\*\*号)  
 製造年 (20\*\*年: 西暦下2桁)  
 製造装置番号 (2桁)  
 製造連番 (7桁)



商品仕様書図	品名	ねつ当番定温式埋込型 (端子式・連動子器) (警報音・音声警報機能付)	品番	SH28227 <sup>(1/3)</sup>	記号	ZU1
単位: mm 第三角法	作成	2007年 6月 11日 改	松下電工株式会社			

配線図

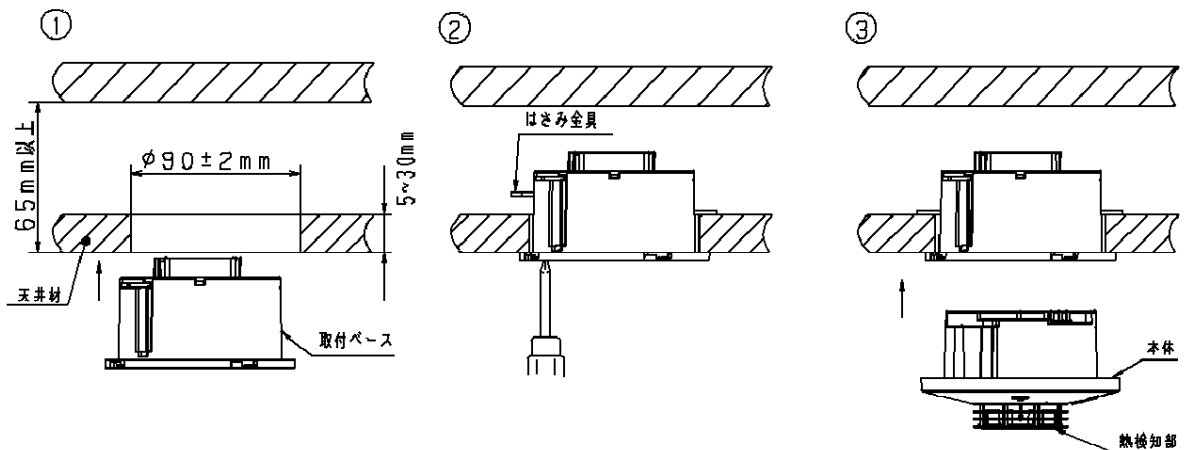


- ・ 接続可能機器：連動型住宅用火災警報器（親器、子器）  
※露出型・壁埋込型・埋込型は混在して使用可能
- ・ 最大接続個数：親器1台、子器14台
- ・ 連動信号線（JV1、JV2）配線抵抗：10Ω以下（往復）
- ・ 分岐配線も可能です。（ただし信号線を圧着接続して分岐してください）
- ・ 親器は終端に限らず、子器間にも接続できます。

配線長：N

線径	N
φ0.65	片道75m以下
φ0.90	片道150m以下

取付要領図



① 天井に取付穴を加工する。  
結線後、取付ベースを取付穴にはめ込む。  
※取付可能板厚は5~30mmです。  
(注) 天井材と内部空間の深さは65mm以上必要です。

② ネジ(2ヶ所)をまわし、固定する。  
●はさみ金具が外向きになり下降します。

③ 本体を取付ベースに取り付ける。  
●本体を取付ベースにはめ込み、時計方向へカチンと音がするまでまわしてください。  
※本体を取付ベースに取り付けるときは、本体の外周を持ってください。熱検知部をもって取り付けると、商品が破損する恐れがあります。

商品仕様書図

品名

ねつ当番定温式埋込型  
(端子式・連動子器)  
(警報音・音声警報機能付)

品番

SH28227 (2/3)

記号

ZU2

単位：mm 第三角法

作成

2007年 6月 11日 改

松下電工株式会社

型式 定 格	鑑注第19～38号		種別	定温式住宅用火災警報器							
	電源	DC20V									
	定格電流	30mA									
	使用周囲温度	0℃～+40℃									
	質量	185g									
	感知方式	熱式(定温式)(特種65℃相当)									
	警報音量	87 <sup>+10</sup> <sub>-3</sub> dB(1m)									
	警報音周波数	0.3kHz～4.0kHz									
	取付場所	台所など									
	設置位置	天井面のみ									
機 能		警報音・音声警報	通電灯(緑)	作動灯(赤)							
	監視時	-		点灯	消灯						
	火災警報時	ビュー、ビュー、 火事です、火事です。		点滅	点滅						
	火災警報停止時	-		点滅	消灯						
	連動警報時	ビュー、ビュー、 他の部屋で火事です。		点灯	点滅						
	連動警報停止時	-		点灯	消灯						
	自動試験故障警報時	ピッピッ、 故障です。		点滅	点滅						
	自動試験故障警報停止時	-		点滅	点滅						
	配線短絡故障警報時	ピッピッ音		消灯	点滅						
	配線短絡故障警報停止時	-		消灯	点滅						
そ の 他	付 属 品	1. 取扱説明書、施工説明書 2. お客様相談窓口一覧表 3. 設置日シール									
	警報音停止方法	引きひもを引く、又は警報停止ボタンを押すと、 火災警報時は約5分間、故障警報時は、約16時間 警報音鳴動は停止し、警報停止状態になります。 時間経過後に警報状態になる条件が残っていれば、 再び警報音が鳴動し警報状態になります。									
	動作機能の確認	<p>&lt;&lt;テスト機能を使って確認する場合&gt;&gt;</p> <p>警報停止ボタンを押す(約4秒未満)、 または引きひもを引く(約4秒未満)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ピッ、正常です。」が4秒おきに1分間鳴り、 通電灯(緑)と作動灯(赤)が交互に点滅すれば 正常です。</li> <li>・連動信号線(JV1、JV2)に接続された警報 器も上記の動作を行います。</li> <li>・1分以内に再度警報停止ボタンを押すか引きひも を引くと鳴動停止します。</li> <li>・鳴動停止操作は、連動信号線(JV1、JV2) に接続されたどの警報器でも行えます。</li> </ul> <p>&lt;&lt;火災警報音を鳴らして確認する場合&gt;&gt;</p> <p>警報停止ボタンを押し続ける(約4秒以上)、 または引きひもを引っ張り続ける(約4秒以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ピッ、正常です。」が1回鳴ったあと、火災 警報音「ビュー、ビュー火事です。 火事です。」が鳴り、通電灯(緑)と作動灯(赤) が交互に点滅すれば正常です。</li> <li>・連動信号線(JV1、JV2)に接続された警報 器は、連動警報音「ビュー、ビュー、他の部屋で 火事です。」が鳴り、通電灯(緑)が点灯のまま 作動灯(赤)が点滅します。</li> </ul>									
そ の 他	自動試験機能		<p>熱が正常に検知できなくなった場合、 「ピッピッピッ、故障です。」が3回鳴り、 その後、約40秒おきに「ピッピッピッ」音 が鳴ります。 これを約1時間ごとに繰り返します。 通電灯(緑)と作動灯(赤)は交互に点滅 します。</p>								
	連動機能		<p>接続しているいずれかの警報器が火災警報 状態になると、その他の火災警報状態でない 警報器は連動警報状態になります。 火災警報状態の警報器がなくなると、連動 警報状態だった警報器は連動警報になる前の 状態に戻ります。</p>								
	連動警報停止機能		<p>連動警報状態のときに引きひもを引いた後、 又は警報停止ボタンを押した後は、約5分間 連動警報停止状態になり発報元以外の連動 警報状態の警報器は警報音が停止します。 連動警報停止状態においても、火災を検知 することができます。 連動警報停止状態において他の警報器が新た に火災警報状態になれば、再び警報音が鳴動 し、連動警報状態になります。</p>								
	ご 注 意		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねつ当番にキズをつけたり、ペンキなど で塗装しないでください。</li> <li>・次のような場所には設置しないで ください。 1. レンジ、ストーブなどの真上および近く 2. 暖房の吹き出し口や煙突の近く 3. 天井のはりの近く 4. 階段・廊下 5. 倉庫など直射日光により温度上昇の はげしい場所 6. 照明器具の真上および近く 7. 取付場所の温度が0℃を下まわる、 あるいは40℃をこえる場所 8. 屋外・屋側 9. 浴室内・水がかかる場所・水滴のつく 場所</li> <li>・火災などによる損害については責任を 負い兼ねますのでご了承ください。</li> <li>・この商品は日本消防検定協会の鑑定品です。 定温式住宅用火災警報器として設置でき ます。</li> <li>・この商品は消防法で定められた自動火災 報知設備には該当致しませんので、それら の用途には使用できません。</li> <li>・その他詳細は施工説明書および取扱説明書 に従ってください。</li> <li>・設置および維持基準については、政省令で 定める基準に従い、市町村条例で定められ ます。 各市町村によって設置場所が異なる場合が ありますので、各市町村が定める火災予防 条例を確認してください。</li> </ul>								
	商品仕様書図		品名	ねつ当番定温式埋込型 (端子式・連動子器) (警報音・音声警報機能付)			品番	SH28227 (3/3)		記号	FS
	単位：mm 第三角法		作成	2007年 6月 11日 改			松 下 電 工 株 式 会 社				